



からほりまちアートで印象に残っている作品の1つ

私が空堀界限を初めて訪れたのは、今から十二年前の二〇〇二年の夏頃でした。当時の私は建築を学び始めたばかりの学生で、指導教員に連れられてゼミの同級生たちと訪れました。大阪の繁華街にほど近いところに、路地、長屋、商店街があり、人々の暮らしの息づかいが垣間見えるまちがあることに驚いたことを今でも覚えていま

## 空堀のまちと私

私が空堀界限を初めて訪れたのは、今から十二年前の二〇〇二年の夏頃でした。当時の私は建築を学び始めたばかりの学生で、指導教員に連れられてゼミの同級生たちと訪れました。大阪の繁華街にほど近いところに、路地、長屋、商店街があり、人々の暮らしの息づかいが垣間見えるまちがあることに驚いたことを今でも覚えていま

大学卒業後、しばらく空堀を訪れることがなかったのですが、空堀で出会った知人からの誘いで「からほりまちアート」の運営に関わるようになり、再び私の空堀通いが始まりました。学生時代に何度かまちアートに訪れていた時は、まちの中にアートがある面白さやイベントの楽しさを感じるのみでしたが、実

実際に運営に関わると、ヨソモノと地元の方との関係、まちの中でイベントをすることの難しさなど様々な問題に直面しており、楽しさの裏には運営側のたゆまない努力があるのだなと痛感しました。まちアートでは、いかにまちとアートを一緒に楽しんでもらい、少しでも空堀のまちの魅力が地域内外の方に伝えたいという思いで続けてきました。

からほりまちアートは二〇一〇年に終えることになりましたが、この活動がきっかけで、まちづくりを専門的に学びたいと思い、大学院に進学しました。大学院では、空堀の地蔵盆を調査するなど、活動以外の空堀の関わりや空堀以外の地域や海外の調査研究などを行う機会にも恵まれ、空堀のまちを研究の視点で客観的に見ることでできたのはとても有意義な経験でした。

活動面では、二〇一一年に世代交代をした「からほり倶楽部」の理事になりました。三年経ちようやく活動が軌道に乗ってきました。他に、「からほりごはん」という空堀のまちの魅力を食べることで感じるワークショップ、空堀商店街のイベントとの関わりや空堀の情報を発信するフェイスブックページの運営、地域の広報活動のお手伝いなど、空堀で幅広い活動に関わり、空堀のまちと人と縁が切れることなく続いています。

改めて振り返ってみて、今後ともよろしく願います、という気持ちでいっぱいです。

(からほり倶楽部理事 渡辺尚見)

からほり倶楽部  
http://www.karahoriclub.com/  
空堀商店街周辺情報@からほりごはん  
https://www.facebook.com/karahorigohan

# からほり新聞

第32号  
(2014.12.5)

### 「空堀界限を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

## 会のお知らせ

当会は寄付が主な活動資金です。この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

06-6211-3645

- かみなり亭  
▶笑福亭一門落語会▶1月17日(土)▶18:00開場 18:30開演▶喜怒銭：当日1500円▶葉業年金会館▶問い合わせ：06-6768-3549
  - 空堀まちなみ井戸端会と島之内図書館共催  
▶からほりかるた▶1月25日(日)▶13:30~▶参加者：小学生以上。高齢の方もご参加ください▶中央会館和室▶問い合わせ：06-6211-3645(島之内図書館)▶申し込みは1月7日から
  - ひなたぼっこ  
▶大人の書道・篆刻▶12月13日(土)▶14時~▶料金：1600円▶ケーキセット付き▶手ぶらでお越しください▶問い合わせ：06-6768-1882
- お買い物は空堀商店街で

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 高齢者外出介助の会 からほりさんらにぜひお越しください。月~金10時~17時まで空いています。  
◆からほりさんのクリスマス会▶12月20日(土)▶12時~▶音楽・手品などで楽しめます▶参加費：600円▶軽いお昼ごはんが出来ます▶問い合わせ：06-6764-4002
- 桃谷会館  
◆モーニング喫茶▶12月13日(土)▶10:00~12:00▶200円  
◆餅つき▶12月14日(日)▶11:00~13:00▶桃谷公園▶問い合わせ：06-4304-2266
- 隆祥館書店  
◆「だいじょうぶ〜心の声が聞こえるよ」の著者 美月ここねさんを囲む会▶12月13日(土)▶14:30開場、15:00開演▶料金：1,500円▶問い合わせ：06-6768-1023
- 島之内図書館  
◆幼児のお楽しみ会▶1月16日(金)▶11時~▶絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど▶問い合わせ：

特定非営利活動法人

### 高齢者外出介助の会とは？

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハートモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

TEL&FAX 06-6764-4002

月~金(10:30~15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださいのお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

### 腰痛改善率 92.3% 女性専用の

### 腰痛専門整体院をご存知ですか？

整体院リポディ魚住 06-6763-2677  
通常初診料込1万円→先着3名限定 3980円  
大阪市中央区玉造 1-6-22-105 玉造駅2分

古典・現代邦楽など、どの分野でもお教えます



講師：門脇 裕子

- ◆稽古日：相談 ◆月謝：5,000円
- ◆お問い合わせ：06-6761-6189

## 空堀新入りの若者座談会

空堀に最近引越してきて、このまのイベントやお店などに関わっている三〇歳前後のメンバーで座談会をしました。どんなふう空堀の生活を楽しんでいるかを聞いてみました。(聞き手：梅山晃佑)

(梅) 僕は元々空堀に興味があつて引越してきたんですけど、宇津木さんはどうでしたか？

(宇) 私は普段は法律事務で仕事をしていた、二〇一三年九月に八尾市から空堀に引越してきました。一人暮らしを始めようと、最初は茨木市に行こうかと思つてたんです。大阪市は都会、危ない、バイオレンスシティというイメージがあつて(笑)でも人に勧められて空堀に来ました。駅から徒歩すぐのマンションで、最初は駅と家の往復だけで、商店街も最初の頃はなかなかいかなかったですね。どんなまちなのか、ともあんまりじっくりは考えなかったです。

(梅) そこから地域のイベントに参加するまでには、どういふことがあつたんですか？

(宇) 八尾ではご近所づきあいもあつたのに、こつちに来てから全くしゃべらないし、まちなことを知るようなイベントに参加すれば、楽しいかなと思つて。Twitterで\*「ぶら空堀まつり」のボランティア募集を見たんです。でもぎりぎりまで悩んで。大学生でもないのに、社会人ひとりでふらつとボランティアに行く、「何が目的なんやろ？」とか思われへんかなと思つて。

(一同) 笑

(宇) それでギリギリまで悩んで、やらないよりやった方がいいかなと思つて、頑張つて飛び込んでみたんです。だからふらつと、というよりは決意してつていふ感じでした。それで色々な人と知り合つて、その流れで\*「高津宮アートギャザリング」や\*「安堂寺まつり」にも参加したんです。誘われて誘われてここに至る、という感じですね。

(山) 宇津木さんは、悩むタイプやけど、呼ばれて行けそうやなと思つたら行ける？

(宇) あんまりNOと言えないところもあるんですけど。元々自分から積極的に動く方ではないんですけど、最近止めないで誘われたら波に乗るようになってるんです。

(梅) どこでその変化があつたんですか？

(宇) 小さい頃から外に出たくなかつたんですよ。だからあんまり友達も多い方じゃないし。でもこの年になって、誘ってくれるというのがありがたく感じるようになったんです。「こんな私でも誘ってくれるんだから行こう」って。

### 柿本さん

空堀生活6年目。「空堀むすび食堂」のスタッフや、マチオモイ帖「谷町6帖」の制作などにも参加。近所の4人ユニット「チーム864」でアートイベントにも参加。



(山) すごい。結構大きな変化やね。

(梅) ちなみに柿本さんは空堀に引越してきたのはいつくらいなんですか？

(柿) 六年くらい。自分がひとり暮らしをする時にかほりまちアートを思い出して、空堀を選んだんです。商店街や空堀の人が協力的なのが印象的やつたんです。

(梅) 引越してきたときはどうでした？

(柿) 最初の四年くらいは商店街で買い物したり、隣の人に挨拶したりするくらいでした。特に「何かしたい」みたいな熱があつたわけでもなかつたんですけど。でも友人が教えてくれて梅山さんのところへ遊びに行つたのをきっかけに、空堀でのつながりが広がりました。

(宇) 誰に誘われたかも大事かも。私もアートギャザリングはスタッフをしている友達に何度も誘われて(笑)、最初は当日のお手伝いだけ行こうと思つてたんですけど、その後も議事録とかのメールがどんどん来るので「最初から最後まで参加しないといけないのかな」と思つて。

(柿) それ作戦にはめられてるよね(笑)

(宇) 山口くんは引越してきてどのくらい？

(山) もう三年目かな。結婚を機に家を探して、空堀とか天満が候補やつてんだけど、\*「往来」も近かつたし空堀に。

(柿) まだ三年目か。

(山) 先輩(笑)

(宇) 私もまだ二年生になつたばっかりなのに、空堀のことを語りだすようになりました(笑)

(梅) そういえば柿本さんは結婚しますもんね。

(山) ほんまや、空堀で出会つた人やん。人生急展開。

(柿) この二年の間に空堀のイベントとかに色々参加するようになって人生は変わったやろね。「往来」はもちろん、「萌」も存在は知つてたけど入ることもそうなかつたし。出会いは空堀で。

(梅) でも「一緒に何かする」っていうのは大きいですよ。コンパみたいな出会いもありますけど、学校みたいにサークルとか部活とかで仲良くなるってよくあるじゃないですか。

(山) 大人になつたらそういうのいもないもんね。

(宇) 社会人サークルに慣れてたんですよ。社会人が集まつてワイワイするって憶れるなつて。でもどうやって探しているかわからへんし、でも今よく考えたら空堀のイベントもサークルみたいなもんです。

(柿) あと忘れもしないのが\*「マチオモイ帖」。出展する作品を近所のみんなで作つた時は

### 宇津木さん

空堀生活2年目。空堀商店街の「ぶら空堀まつり」にボランティアで参加し、その後も「高津宮アートギャザリング」「安堂寺まつり」などにも参加。



毎日のように会つてたから。しかも仕事帰りに夜中の二時とか三時まで集まつて作業してんねんで。笑っちゃうよ(笑)

(宇) アートギャザリングの時も同じでした！「明日っていうか今日仕事なのに」みたいな。社会人になつてから仕事以外でこんなに真剣に話したことあるかなーって。

(柿) 私もマチオモイ帖で一気に仲良くなった。

(柿) 地域でこんなイベントやつてるところ聞かないですもんね。特殊だと思います、空堀は。

(梅) 一人暮らしして近所に友達がいるって、なかなか無いし、社会人になつてから友達できないですよ。

(柿) そうそうそう！

(山) 空堀だったら、新しい人のつながりが生まれやすいかもしれないね。

### 【補足】

\*からほりまちアート

空堀を舞台にしたアートイベントで二〇一〇年に終了

\*ぶら空堀まつり

商店街で毎年五月に開催される商店街組合主催のお祭り

\*高津宮アートギャザリング

秋祭の一企画で神社の境内を使ったアートイベント

\*安堂寺まつり

安堂寺(谷六駅の北東あたり)で復活した緑日

\*コワーキングスペース往来

ご近所さんが集まるお店で今回の座談会の会場

\*わたしのマチオモイ帖展

自分の好きなまちを紹介する冊子ばかりを集めた展覧会

### 山口くん

空堀生活3年目。コワーキングスペース往來のスタッフとして、週の半分はお店の番頭に。「空堀むすび食堂」のスタッフや、マチオモイ帖「谷町6帖」の制作などにも参加。



### 空堀むすび食堂のご案内

空堀むすび食堂は「まちのイベント情報の掲示+立ち飲み屋のような雰囲気での食事会」です。不定期に実施しています。出入り自由で誰でもふらつと立ち寄れますので、「まちのことに関わってみたいけどとっかかりがない」「近所で遊べる友達が欲しい」という方は気軽に遊びに来てください。

● 次回の開催予定

日時：12/6(土) 18:00~21:30

会場：かいご・かんご塾 胡桃(桃谷公園前)

参加費：無料(飲食費は実費)

<http://daichinaikai.jimdo.com/musubi/>

# 大きな音を立てて焼け落ちた。ピアノ

「藤井 敏さん 大正十五年生まれ」

昭和二十年、終戦を迎えるこの年の三月から六月にかけて、大阪市内は米軍の大空襲に見舞われました。とりわけ三月の時の空襲は激しくて、市内の大半を焼き尽くしました。焼夷弾はまるで花火のように、真っ暗な空にパッと散ってキラキラと降ってきます。そして落ちたところが燃えるのです。



火の玉となって落下してくる焼夷弾 (毎日フォトバンクより)

内本町にあった私の実家が被災したのは、六月でした。母、私、弟は、向かいの強制疎開跡の空き地に立ち、呆然と我が家の燃えるのを見ていました。消防車など全然来ません。町内が一斉に焼けているのです。



空襲で焼けた北区界限 (産経新聞社より)

二階に置いてあった縦型のピアノが、ガーンと大きな音を立てて焼け落ちました。音楽学校を自指していた弟は涙をポロポロ流しながら見ていました。三年前の東日本大震災の跡をテレビで見た時、空襲のあとと一緒にだなあ、と思いました。電気水道、ガス、何もないのです。

私達は、父と小さい妹が疎開していた京都の郊外へ着の身着のままだどり着きました。小さい家でしたが、ここは電気もつき、水道も水が出てガスも使えました。でも食べる物が何もありません。食べ盛りの弟は、一日中「腹減ったなあー」と言っていました。

八月十五日の終戦の日、両親はすぐ京都の中心部、河原町通に大きな家を探してくれ、引越しました。幸いな事に内本町の焼け跡に蔵が残っていました。皆で恐る恐る開けてみると、家財道具やら衣類などが一杯詰まっております。棚には商品も残っていましたので、早速京都に運んで呉服店を始めました。でもその頃は衣類も統制品でしたのでお店には飾りません。一応古着屋として商売することができました。

当時の両親、弟、妹も皆亡くなり、今は私一人になりました。が、娘、息子にも恵まれました。そして戦争中や戦後、苦勞をかいた皆に感謝しています。今の若い人たちが将来成人して、戦争を始めたりしないようにしてもらいたい、と思っております。

## お世話になります



高齢者外出介助の会  
事務局長 永井佳子

フェイスブックから消えるときどうしたらいいのか考えています。会から身を引くときこれは自分で削除できますが亡くなったときどうしたらいいでしょう。前にいつまでもネットで流れていると読んで気になっています。

私が思った方法は、身内に「お礼の言葉とご挨拶を載せて」一年ぐらいそのままにし、一年が過ぎれば削除してもらおう、こんな筋書きでいいかなあ。

そんなことを話していると、「携帯を持った親が亡くなるとなかなか解約にに応じてくれない」という話を聞きました。解約は本人しかできないのだそうです。私は「そんなに言うならあなたが亡

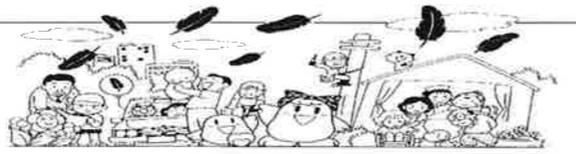
くなった親に電話してよ！」と言いたくなりません。誰の世話にもなりたくないと思う人が多く聞きますが、その言葉を聞くと私は皮肉ですが「棺桶誰が担ぐの?」と言いたくなるのです。その話で盛り上がった時「棺桶に一人で入れない」要は入るのも担ぐのも出来ない状況になりますね。入るのはイメージになかったけど本当にそうですね。どれだけ立派に世話にならないで生き切っても最後の儀式は一人で準備ができません。死はすべてつながりが切れることで、ものに囲まれ生きている私たちは社会との片付けも誰かに託するかありません。やっぱり「お世話になります」。



街のおじさんから④  
高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

年を取ると歩くのが困難になってきます。特に空掘のような坂が多い街は大変です。歩行補助のための用具はたくさんあり「杖」から始まって、「歩行器」などの押し歩く器具は多く使われています。さらに、自転車も危険になると「車いす」が必要になってきますが、高齢者が手動車いすで、自力で移動することは無理です。から「押ししてもらう」ことになってしまいます。家族が介護ヘルパーなどのお世話になる訳で、それでは自分の意思で思った時に、自由に外出することが困難になります。それを補うのが「電動車いす」ですが、かなり大きいので近所の店に入れ

ず困ります。手軽に使える、小型で機能的な電動車いすがあれば良いのですが、なかなかピタリの製品はありません。ところが、電動アシスト歩行器や電動アシスト車いすなどの新製品が発売されてきて、新しい可能性を示しています。「自分で自由に外出することが特別なことでなく、誰でも出来るようになれば、うれしいですね。新しい移動機器を利用すれば、夢でなくなる!」そんな製品が多く出されるためには「こんな物が欲しい」と伝えることが必要です。しっかり伝えれば、応えてくれるメーカーがきっと出てくる。信じて。(山名勝)



### 地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

### 広告掲載のお願い

からほり新聞に広告を出しませんか

- ①1コマ 縦49mm×横79mm 3,000円
- ②1コマ 縦33mm×横79mm 3,000円 (2回連続で掲載の場合は5,000円)

\* 原稿、データ(ロゴ等)をいただきました。こちらで作成させていただきます。

連絡: TEL・FAX 06-6764-4002

# 消える長屋

谷町筋を越え空堀商店街を東に向かって上がると右側に上町中学に通じる下り坂がある。通称温泉坂と言われているそうで最近その名を知った。

ここを下る左手に大正時代に建てられたという四軒長屋があった。この辺りを歩くと昔のことがよみがえり楽しかった。



坂道の左手に魚屋があったのが右側に引越しをされていたので聞くと「取り壊される」という事だった。気になって見に行くと長屋の前に足場が組まれていた。時間があまりないと再び見に行くともう更地になっていた。そして商店街に面している長屋の裏のレンガの壁が姿を現していた。大切なものがなくなつたような寂しさを覚えた。

なぜそんなに気になるかという私が上町中学に通っていた時、この長屋にある一軒の家に母から「お昼ご飯を食べに行つていい」と言うのでお昼に姉と学校を出て食べに通つた。おこたにはいりお味噌汁がでて温かいご飯だったと懐かしい記憶だ。後で聞くと母の

従妹の家だったそうだが、誰が学校に言ったのか朝礼でこのことが話に出て数か月でこの食事ができなくなった、中学時代の

# 空堀哲学Café

写真を見るような思い出の家だ。誰にも懐かしい場所があると思うが私の思い出の一つの場所だった。(ケラ子)

日常の中でふと疑問に思うこと。今まで何とも思わなかったのに不意に気になってしまうこと。皆さんはその「気になること」をどうしていますか。忙しくて付き合っていられませんか。一瞬気にはなつたけれども、やっぱりどうでもいいことと思いませんか。その「気になること」にもう少し引

かかってみたくはありませんか。立ち止まって、眺めて、考え、語り合ってみませんか。道勝Caféの二階、お座敷のゆったりとした雰囲気の中で、そんな「気になること」について対話する時間を哲



(青木健太)

## 快傑！からほり人 快傑ファイル其の二十七

### 空堀拠点のビニール問屋は 自社製品を世界に輸出

権神商店 権神恭成さん

松屋町筋の角にあるビニール製品の問屋権神商店は日本で二つとない色々なビニール製品を卸しています。この空堀を拠点に納品先は西日本を中心とした全国だけでなく、世界各国にも及ぶという権神商店を取材しました。

関東に一軒、関西はここだけだというビニール問屋を切り盛りするのは穏やかで明るく気さくな人柄の権神恭成さん(71)。空堀で生まれ育った生粋の空堀人です。

権神商店は松屋町筋に並ぶお



もちゃ屋の一角でした。一九六三年(昭和三十八年)にドイツが開発したビニール製品が日本に入ってきた時、いち早くビニール問屋へと転身しました。権神商店から仕入れられたビニール製品はメーカーに納品される様々な製品に姿を変えます。それは点滴の管やスプレー缶の管、フラフープの棒や装飾用の発泡スチロールなど多岐に渡ります。「大きな会社が直接、製造会社に仕入れるという構図はあるけれど、問屋はまず量が違う。そしてメーカーがほしいものにび

つたりのモノを提供しなければならぬ。これが難しいんです」ありとあらゆるビニール製品の性質や特質がわかる権神さん。原材料を知りたい時など火であぶった匂いで何が使われているか認識できるという。「ビニールホースなら厚みや穴の直径、大きさ、素材を全て把握して、お客様の用途にあったものを提供するんです。見積もりを出すときもとても重要なんです。何せ一メートル銭や厘という価格で何万メートルを販売するのでそこから間違ったら大変なんですよ」

### 世界の自動車部品に使われる 権神商店のビニール製品

ビニール製品と向き合って四十八年、経験豊富な権神さんは業者からの要望に応える製品を開発することも。それが、人体や環境に有害物質となるフタル酸を使わず、大豆油脂で作られた環境に無害なビニール製品です。下請け会社に細かいところまで指示を出してようやく完成。この製品を購入するのは環境に

対して規制の厳しい欧州向けの自動車関連会社です。大きな自動車の中で権神さんのビニールが使われるのはわずかですが規制が厳しいため、ニーズが高まっています。

店内にはそのビニール製品を詰めた大きな段ボール箱が積み上げられていました。行先はポロランド、中国、インドネシアなど世界各国です。

これまでも、各国にビニール製品を輸出する機会も多く、そのたびに景気の影響が顕著に表れるそうです。今は円安なため、輸出は好調ですが過去には、廃業を考えたこともあるそうです。「オイルショックの好景気やリーマンショックの不景気など経営は常に困難でした。でも、今はここしか問屋がないから取引先にはやめたら困るって言われます。日の目を見ないから人気のない職種ですが、奥が深く縁の下の手持ちなんですよ」今日も権神商店では、長年の取引先とのやり取りとビニールを加工する音が鳴り響きます。

(岡田 由佳子)